

SONY

業務用 4K SXRD レーザー光源プロジェクター

VPL-GTZ270

VPL-GTZ280

眼前に広がる美しい色彩、精細なリアリティー。
観客を魅了する圧巻の4K映像体験



4K SXRD

Z-Phosphor
LASER LIGHT SOURCE

TRILUMINOS
DISPLAY

DFI Dark Frame Insertion
Motionflow

HDR

sony.jp/vpl/

4K映像を忠実に投写するネイティブ4K(4,096×5,000ルーメン^{*1})の高輝度でレーザー光源を採用

4K SXRD^{*2}パネルを搭載する高画質レーザー光源プロジェクターとして、

5,000lm(ルーメン)の高輝度モデルをラインアップし、大画面の上映に対応します。

4K SXRDパネルはネイティブ4K(4,096×2,160ピクセル)解像度を投写可能な液晶ディスプレイデバイスで、高精細な4K映像を忠実に再現できます。

また、レーザー光源の採用により、突然の光源切れの心配が無く、長期に渡って光源交換も不要で、高信頼性と低運用コストも実現しています。

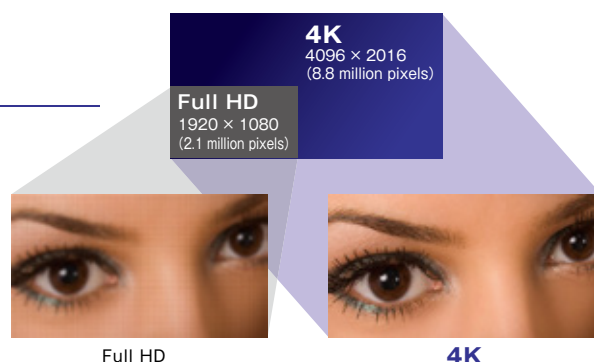
ネイティブ4K(4,096×2,160ピクセル)の高解像度

VPL-GTZ270

VPL-GTZ280

ソニー独自のネイティブ4Kの液晶ディスプレイデバイス4K SXRDパネルを3枚搭載し、4Kの高解像映像を忠実に投写します。さらに、データベース型超解像処理LSI「リアリティークリエーション」を搭載し、HDの映像信号もきめ細やかで高品位な4K映像に変換して投写します。

※画像はイメージです



「20,000:1」^{*6}の高コントラストを実現

VPL-GTZ270

VPL-GTZ280

光を無駄なく映像に変換することに優れているSXRDパネルを搭載した光学エンジンにより、20,000:1^{*6}の高コントラストを実現しました。引き締まった黒を表現でき、星空などの暗いシーンの再現性に優れています。

※画像はイメージです



レーザー光源の採用で、高信頼性と低運用コストを実現 自由な設置角度にも対応

VPL-GTZ270

VPL-GTZ280

レーザーダイオードを光源に使用しているため、突然光源が切れるリスクが低く、大事な上映やシミュレーションを中断することなく安心して運用を行うことができます。また、シールド密閉構造でちりやほこりに強く、内部をクリーンに保って稼働することができ、約20,000時間^{*7}、消耗部品の交換が不要

です。長期に渡ってメンテナンスの必要がなく、運用コストの軽減に大きく寄与します。また、上下・左右のどの角度でも自在に設置でき、天井や床などのあらゆる角度に投写が可能で、さまざまな用途に対応します。

*1 VPL-GTZ280はオプション装着時(標準では2,000lm)。 *2 SXRD(Silicon X-Tal(crysal) Reflective Display)シリコン基盤上に平坦な反射膜を形成し、光の乱反射を抑えて締まりのある映像を再現します。また、画素の微細化と高い開口率を両立し、固定画素特有のメッシュ感を感じさせず、高精細で滑らかな映像を実現しています。 *3 DCI(デジタルシネマ上映システムの仕様。ハリウッドメジャー6社にて構成される業界標準化団体「デジタルシネマ・イニシアティブ」にて制定) *4 ITU-R BT.2020(次世代放送の映像制作規格。電気通信分野における国際連合の専門機関である国際電気通信連合「ITU: International Telecommunication Union」の

2,160ピクセル)のパネルを搭載



VPL-GTZ270

広色域を実現し、DCI色再現域*3、ITU-R BT.2020規格*4*5の広色域に対応します。高画質映像の再現性に優れるため、美術館、博物館、映像試写室、プラネタリウムなどのビジュアルエンターテインメントに適しています。

VPL-GTZ280

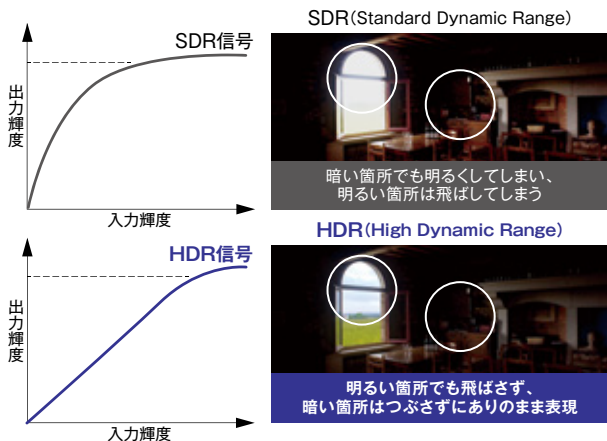
4K/120p(オプション「LSM-120P1」使用時)の高フレームレート対応により、フライトシミュレーションのような、映像の動きになめらかさが求められる、繊細なシミュレーションに適しています。

広ダイナミックレンジ

VPL-GTZ270

VPL-GTZ280*

★オプション「LSM-HDR1」使用時
幅広いダイナミックレンジを表現可能で、HDR(High Dynamic Range)にも対応します。白飛びや黒つぶれを起こさず、暗部から明るい箇所まで、高品位なコンテンツの表示ができます。※画像はイメージです



広色域

VPL-GTZ270

ワイドカラーモード*8で、BT.709を超える幅広い色域をカバーし、DCI色再現域*3やITU-R BT.2020規格*4*5の広色域にも対応します。 ※画像はイメージです



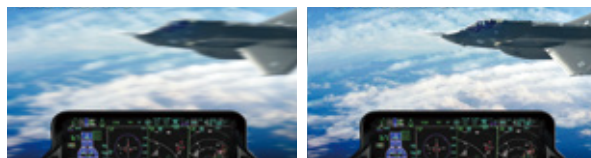
BT.709(sRGB)

ワイドカラーモード

4K/120p投写で動画もなめらか、 スミア低減で速い動きもクリアに表現

VPL-GTZ280*

★120pはオプション「LSM-120P1」使用時
4K映像を1秒間に120コマで投写可能で、速い動きもなめらかに上映します。さらに3D(4K/60p)に対応し、仮想トレーニングなどの用途にもご利用いただけます。また、低遅延でシミュレーション操作もしやすく、黒画挿入(30/50/70%)でスミアを大幅に低減、残像が残らず映像酔いも抑制します。 ※画像はイメージです



通常の動画画像

スミア低減 ON

静音設計(35dB以下*9)、光漏れも防止

VPL-GTZ270

VPL-GTZ280

新開発のシールド密閉構造や液冷機構により、静音設計(35dB以下)を実現。光漏れも防ぎますので、視聴者は映像に集中することができます。

スタック運用による輝度アップ

VPL-GTZ270

VPL-GTZ280

上下、左右にスタックが可能な筐体を採用しているため、複数台を重ねて投写することで、輝度アップを実現します。



無線通信部門「ITU-R: ITU Radiocommunication Sector」にて制定) *5 ITU-R BT.2020の色域は完全には包含していません。 *6 数値は目安であり、プロジェクターの設定条件や使用環境によって異なります。 *7 省エネモードでは40,000時間となります。なお各数値は、輝度が半減するまでの時間の目安であり使用環境や使用状況により異なる場合があります。また、VPL-GTZ280で省エネモードを行う場合はオプションの「LSM-BRIN1」が必要です。 *8 ワイドカラーモードでは輝度を下げた運用となります。 *9 数値は目安であり、プロジェクターの設定条件や使用環境によって異なる場合があります。

■主な仕様

型名		VPL-GTZ270	VPL-GTZ280	
光学系	投写方式	SXRD、3原色液晶シャッター投写方式		
	パネル素子	0.74型SXRDパネル 約2,654万画素(水平4,096×垂直2,160×3)		
	投写レンズ	フォーカス	電動	
		ズーム	電動	
		シフト	VPLL-Z7008: 電動 上下: ± 50%、左右: ± 18% VPLL-Z7013: 電動 上下: ± 80%、左右: ± 31%	
投写比率	VPLL-Z7008: 0.8:1 ~ 1.02:1 VPLL-Z7013: 1.27:1 ~ 2.73:1			
光源	レーザーダイオード			
有効光束(光出力)*1	5,000ルーメン	2,000ルーメン(標準) 5,000ルーメン(オプション「LSM-BRIN1」使用時)		
カラー光束(光出力)*2	5,000ルーメン	2,000ルーメン(標準) 5,000ルーメン(オプション「LSM-BRIN1」使用時)		
光源寿命*3	20,000時間(省エネモードでは40,000時間)			
コントラスト比	ダイナミック	30,000:1*4		
	ネイティブ	20,000:1*4		
電気系	色深度(最大)	12bit (HDMI)、10bit (Display Port)		
	入力信号(最大)	4K/60p 4:4:4	10bit (Display Port) 4K/60p 4:4:4 (標準) 4K/120p 4:4:4 (オプション「LSM-120P1」使用時)	
入出力	入出力	HDMI x2、 Display Port x1、Display Port (Split用) x1、 RS-232C、IR IN/OUT、Trigger x2、LAN、USB	Display Port x2、 Display Port (Split用) x2、 RS-232C、IR IN/OUT、Trigger x2、LAN、USB	
	HDR (High Dynamic Range)	標準 (HDMI入力)	オプション「LSM-HDR1」使用時 (Display Port入力)	
主な機能	広色域 (DCI/ BT.2020)	○*5*6	—	
	4K/120p	—	オプション「LSM-120P1」使用時	
	4K/3D	30P: 標準	30p(標準)、60p(オプション「LSM-120P1」使用時)	
	スミア低減(黒画挿入)	1モード(30%)	3モード(30/50/70%)	
	チルトアングル	垂直方向: フリー、水平方向: フリー		
ノイズ	30 ~ 35 dB*7			
外形寸法(幅×高さ×奥行)	約550×228×750mm(突起を含まず)			
	質量	本体: 約40kg、VPLL-Z7013: 約2.6kg、VPLL-Z7008: 約3.7kg		
一般	電源	電圧	AC100V	
		周波数	50/60Hz	
	消費電力	最大	1.2kW	
		待機時	0.4W	
	発熱量	4092BTU/h		
動作温度	5 ~ 40℃			
動作湿度	20 ~ 80% (結露なきこと)			
その他	付属品	リモコン(RM-PJ29) × 1、単3形乾電池(マンガン) × 2、電源コード × 1、取扱説明書(CD-ROM) × 1 VPLL-Z7013(標準レンズ)、VPLL-Z7008(短焦点レンズ)、TDG-BT500A(3Dメガネ)		
	別売オプション	VPL-GTZ280専用ソフトウェア	LSM-BRIN1 (5,000ルーメン)、LSM-120P1 (4K/120p対応) LSM-HDR1 (HDR対応)	

*1 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911:2003データプロジェクターの仕様書に則って記載しています。測定方法、測定条件については付属書2に基づいています。*2 カラー光束とはプロジェクターのカラーパフォーマンスを評価する測定方法です。カラー光束は製品を選択する場合に、カラーパフォーマンスを簡単かつ正確に評価する指標として活用できます。*3 光源寿命は、輝度が半減するまでの時間の目安として示しています。あくまで目安であり使用環境や使用状況により異なる場合があります。*4 数値は目安であり、プロジェクターの設定条件や使用環境によって異なります。*5 ワイドカラーモードでは輝度を下げた通用となります。*6 ITU-R BT.2020の色域は完全には含まれていません。*7 35dB (5,000lm)、30dB (2,500lm)。なお、数値は目安でありプロジェクターの設定条件や使用環境により異なる場合があります。

■寸法図 (mm)



■コネクターパネル

VPL-GTZ270



VPL-GTZ280



※1 使用できません ※2 Split入力用

安全に関する注意 商品を安全に使うため、使用前に必ず「取扱説明書」および「簡易説明書」をよくお読みください。

プロジェクターを安全にご使用いただくために ●**▲** 本製品は、クラス2レーザー製品です。ビームを覗き込まないようご注意ください ●**▲** 裏蓋をはずしたり、セット内部の改造をしないでください ●**▲** 排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。ふさがないようにください ●**▲** 天井設置時は、ワイヤーを取り付ける等の落下防止対策を行うことを推奨いたします ●**▲** プロジェクター使用上の注意 ●ほこりの多い場所での使用は避けてください。また、たばこの煙などによる空気の汚れが、プロジェクターに悪影響を与えることがあります。たばこの煙などが、直接プロジェクターに入らないようご注意ください ●**▲** エアフィルターについて: プロジェクターの性能の維持や故障を防ぐために定期的にエアフィルターをクリーニングまたは交換してください ●**▲** 冷却ファンについて: プロジェクター内部には、温度上昇を防ぐために冷却ファンが取り付けられています。プロジェクターの電源が入っていると多少音を生じます。●**▲** 圧縮表示による対応について: パネル解

像度と異なる入力信号では、入力信号そのままの解像度での表示はされません。圧縮表示の場合、文字や罫線の太さが不均一になる場合があります ●**▲** カタログ上の注意 ●仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがあります ●**▲** カタログと実際の商品の色とは印刷の関係で、多少異なる場合があります ●**▲** 画像はハメコミ合成です ●**▲** 本カタログに掲載の価格には、配送設置工事・接続調整などの費用は含まれていません ●**▲** 商標について ●「ソニー」および「SONY」、ならびにソニーの商品名、サービス名およびロゴマークは、ソニーグループ株式会社またはその関連会社の登録商標または商標です ●**▲** HDMI、HDMI および High-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です ●**▲** その他の商品名、サービス名、会社名またはロゴマークは、各社の商標、登録商標もしくは称号です。なお、本文中ではTM、®は明記していません

法人のお客様向け
ソニー ウェブサイト sony.jp/pro/

ソニーマーケティング株式会社 | 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

購入に関するお問い合わせ
業務用商品購入相談窓口
フリーダイヤル ☎ **0120-580-730**
受付時間 **9:00~18:00** (土・日・祝日、および弊社休業日は除く)

製品に関するお問い合わせ(使い方、故障診断など)
フリーダイヤル ☎ **0120-788-333** 携帯電話・PHS・一部のIP電話からは **050-3754-9550**
受付時間 **9:00~18:00** (土・日・祝日、および弊社休業日は除く)

2021.4
カタログ記載内容2020年1月現在